

令和2年12月23日

学生の皆様
保護者の皆様

茨城県立農業大学校長

年末年始の新型コロナウイルス感染症対策の徹底について（お願い）

日ごろから、本校の運営に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止並びに学修機会の確保について、特段の御理解を頂き、重ねて感謝申し上げます。

さて、本県における当該感染症の感染状況については、県のコロナ対策指針である「茨城版コロナNext」に基づき、令和2年11月11日からStage3とされ、県民に対して年末年始に向けた感染防止対策をお願いしているところです。

一方、国が同月9日に取りまとめた「緊急提言」においては、大学等での感染対策について、「授業そのものよりも、むしろ飲み会や寮生活、課外活動等でクラスターが発生している。感染防止と学修機会の確保の両立を図ることが極めて重要である。」とされ学修機会の確保と併せて私生活における感染拡大の危険性が指摘されているところです。

つきましては、自宅におかれましても下記の感染拡大防止の取組について、皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 感染防止対策の徹底

- ・基本的な感染予防対策である手洗い・マスクの着用，換気の徹底等を行う。
- ・夜間も含め、「3つの密」（換気の悪い密閉空間，多数が集まる密集場所，近距離での会話や発話が生じる密接場面）を避けることを徹底する。
- ・「感染リスクが高まる「5つの場面」」（別添：令和2年10月23日付新型コロナウイルス感染症対策分科会提言）を理解し，感染リスクを下げる工夫に取り組む。
- ・感染が疑わしい時，発熱等の体調不良時などには，茨城県立農業大学「新型コロナウイルス感染症に関する対応ガイドライン（新型コロナウイルス感染症対応フローチャート，感染及び発熱等における「出席停止等の考え方」等）」にしたがって，行動する。

- ・直近1週間の陽性者が人口10万人あたり15人を超える都道府県※への移動及び滞在（帰省含む）は特に注意する。

※北海道，埼玉県，東京都，神奈川県，愛知県，京都府，大阪府，兵庫県，広島県，高知県
（12月19日現在）

2 忘年会，新年会，成人式等の留意点

新型コロナウイルス感染症対策分科会が提言した「年末年始を静かに過ごす」などに基づいて行動する。

具体的には，忘年会や新年会などについては，「いばらきアマビエちゃん登録店を利用する」，「なるべく普段から一緒にいる人と少人数・短時間で開催する」，「座席の配置は斜め向かいとし正面や真横はなるべく避ける」，「大声，回し飲み，箸の共用は避け，会話する時は必ずマスクを着用する」など。成人式については，「会場やその周囲では密集をしない」，「式典の前後には飲食を控える」など。特に「体調が悪い人は参加しない」ことは，あらゆる場面で徹底する。

また，クリスマス，大晦日，初日の出など，主催者のいない季節行事については，自ら感染防止対策を徹底する。

3 アルバイトの自粛

- ・可能な限りアルバイトは自粛する。

4 その他

本年度の冬季休業日は，学修機会の確保並びに感染リスク低減に向けた休業日拡大による行動の分散を図るため，以下のとおり変更します。

農学科，畜産学科	R2.12.26（土）	～R3.1.11（月）
園芸学科	R2.12.25（金）	～R3.1.11（月）
研究科 1年	R2.12.25（金）	～R3.1.11（月）
〃 2年	R2.12.24（木）	～R3.1.11（月）

また，令和2年12月28日（月）夕方から令和3年1月8日（金）夕方までは，原則として寮に立ち入らないようお願いします。立ち入る必要がある場合は，必ず事前に担任等に連絡するようお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

別添

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

